



『なごらをむすび』を販売しました

長柄町では、コメのブランド化を進めています。その一環として、長柄町のコシヒカリと旬の食材を使った『なごらをむすび』を千葉大学と共同開発しました。これまで、町内外の方々の協力のもと、「秋のわいわいフェスティバル（10月）」、「千葉大学（11月）」、「第61回長柄町一周駅伝大会（12月）」で販売しました。

11月に千葉大学西千葉キャンパスでおこなった出張イベントでは、用意した72パック（3個入り500円）の『なごらをむすび』が45分で売り切れました。購入者に対しておこなったアンケートでは、94.4%の人が「美味しい」と回答し、自由意見として、「ご飯が甘くてもちもちしていた」「普段のお米とは違った特別感があった」「味のバランスが良かった」「味噌汁とセット販売してほしかった」「見どころを教えてもらえれば実際に訪問したい」「大学の講義で長柄町を学び、買いに来た」「また販売されたら必ず買いに行く」などの意見がありました。その他、「価格がやや高い」「量が少ない」「パッケージにストーリーが欲しい」といった意見もあり、大変参考になりました。

今後、継続的な販売のための製造・流通や、新しい味の開発を検討することが必要で、町民の皆様にもぜひご協力いただければ幸いです。



（左）秋のわいわいフェスティバルで販売した『なごらをむすび（9個入り）』、（中央）千葉大学での出張イベント、（右）千葉大学で販売した『なごらをむすび（3個入り）』